

1年 デジタル探究（概要）

京都大学大学院教育学研究科 助教 久富望先生にご協力いただき、デジタルを取り入れた探究活動を行いました。久富先生には毎回オンラインにて授業に参加していただき、さらには7回、対面にて直接ご指導いただきました。以下は1年間の概要になります。

テーマ「一人ひとりが将来よりよく生きるため、一皮むけて成長する機会をたくさん作る」

デジタル探究 目標「データの見方を探究活動に取り入れ、学んだことを活かせる人材の育成」

1年間の目標（到達地点） 「データサイエンスとは何かを理解し、データの利活用ができる」

- ・ Chromebook の使用法を身につける
- ・ Python の基本的知識を身につける

【年間計画】

4月 Chromebook の基本的な使い方 各アプリ、ドライブ、タイピングの練習

5～7月 データサイエンスとこれからの社会（講演）、データとは何か

▼データを扱う上で必要な統計（ヒストグラム、散布図、相関）の基本的な知識

▼統計データはどこから手に入れるのか

▼グラフの作成と読み取り（実習）

※スプレッドシート or エクセル 関数の使い方

※データは教員が準備したものを使用

▼「批判的思考」

8月 プログラミングとは何か（講義、講演）

9月 Python で何ができるのか、Python のしくみ

10月 Python 実習

11月 探究モデル「3角ロジック」を用いた課題の解決

12月 探究モデル「対話型論証モデル」

による主張のまとめ

1月 発表準備

2月 発表、振り返り

3月 予備

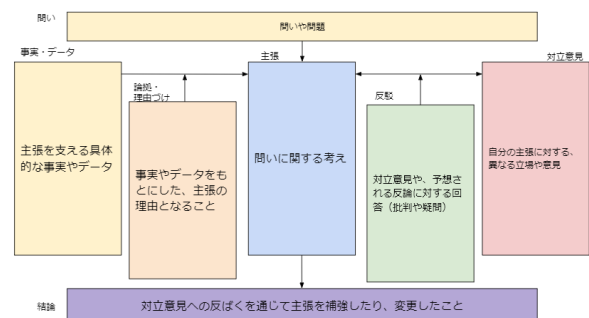


図 1 対話型論証モデル